



## 公衆衛生業務は大変!

### 土佐塾中生が職場体験

高知市丸ノ内2丁目の有害物質検査などにある県衛生研究所で試験研究を行っている15日、中学生の職場体験学習が行われ、土佐塾中(同市北中山)の生徒がウイルス検査の方法や野菜の残留農薬検査などの公衆衛生業務を体感した。

同研究所は感染症の発生動向調査や、食品野菜の残留農薬検査に挑戦する中学生(15日午前、高知市の県衛生研究所)

この日は同校の3年生28人に岡林康夫所長が業務内容を説明。その後、生徒は放射線量測定器を扱ったり、粉末状にした野菜を使って残留農薬検査の工程を体験したりした。

参加した山本陽南さん(14)は「こんなにたくさんの研究をしているとは思わなかった。難しい機械ばかりだっ

たけど面白かった」と興味津々。岡林所長は「子どもたちの理科離れが言われる中、実際に業務を知ってもらえる学習は大歓迎です」と話していた。

(竹村朋子)